

2021年夏季連盟杯団体戦実施計画書

競技名

夏季連盟杯団体戦

開催主旨

新型コロナウイルス感染症対策のバドミントン活動ガイドラインに基づき、具体の対策を実施する中でバドミントン競技を円滑に進め競技会の成功を目指す。併せて、この競技会で得た様々な知見や教訓等を今後の大会運営に資することを目指す。

主催者・・・枚方市バドミントン連盟

日時・・・令和3年7月25日 枚方市総合体育館 メインアリーナ

競技会開催時間・・・9時～21時

競技内容・・・男女別団体戦。(リーグ戦を基本にする)

開・閉会式なし。

男女1部8チーム・2部1チーム、男子2複1単・女子3複

男子1チーム5～7人 女子1チーム6～8人

参加費用・・・一般1チーム4000円 高校生1チーム2000円

(7月17日の代表者会議にて徴収)

(試合用シャトルを各クラブ(各チーム)用意すること)

参加対象者・・・2019年夏・2020年冬の団体戦にエントリーされたチームを対象とする。

参加者遵守事項

- ① (公)日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン(3章バドミントン競技大会・イベント実施に当たって)」の選手向けの当日に関する確認事項及び本実施計画書の各項目を守ること。
- ② 健康状態確認チェックシート(別表1)を当日提出すること。
- ③ 競技会前の7月17日のクラブ代表者会議に必ず出席すること。
- ④ 高校生及び18歳以下の参加者は保護者の同意を得る事。

※②③が守られない場合は参加を取り消します。

申込み・・・連盟ホームページから必要事項をダウンロードして7月1日～7月10日までにインターネットでの申込みをする

タイムスケジュール・・・6月28日連盟ホームページ広報・募集、7月10日申込み締め切り、7月17日16時から総合体育館にて代表者会議・組合せ会議。

感染予防対策

- (1) 競技会運営者について
 - ・ 競技会当日、総合体育館入り口にて検温を実施し、異常なければ入場する。
 - ・ 全ての競技会運営者は検温・健康状態確認チェックシートで体調確認を行う。
 - ・ プレーされている選手以外は、常時マスクを着用する。
 - ・ 競技会運営側で用意する物品（消毒液・遮蔽用具・検温器・清掃用具）の準備と設置場所の確認。その際、施設側で準備する範囲を明確にする。
 - ・ 式典等、運営の簡略化
 - ・ 諸注意などの伝達事項は代表者や書面配付けやメール等を活用する。
- (2) 体育館内の入館確認及び準備事項
 - ・ 選手は競技会当日、総合体育館 2 階入り口にて検温を実施し、異常なければ入場する。
 - ・ 開場時に密にならない様に、あらかじめ決められた観覧席に入場させる。
 - ・ 下駄箱の利用を禁止する（各自ビニール袋等で自己管理を行う）
 - ・ 密を避ける為に試合進行等が、遠くからでも分かるようにプロジェクターなどを活用する。
 - ・ 更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。
 - ・ 食事場所は観覧席などの場所指定し、密にならないように感染拡大防止を徹底する。
 - ・ 参加者の観戦スペースは使用可能範囲を表示する（施設管理者との協議）
 - ・ 定期的な消毒を行う。
- (3) 競技本部及び本部控え室
 - ・ 競技本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
 - ・ 本部控え室は可能な限り常時窓や扉を開放し換気をこまめにし、競技会運営者のみ使用する。
 - ・ 運営物品や共用物等は、定期的に消毒を行う。
- (4) 競技場内及び競技関係用具類等
 - ・ 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
 - ・ 競技の特性から窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
 - ・ コートサイドには選手が使用するカゴを設置せず、各自バッグを持参させ、飲み物等も各自バッグに収容させる。
 - ・ コートのモップ掛けは、毎試合終了時に行う。
 - ・ 毎試合終了時、線審椅子等使った物品をコート毎に消毒液を用意し消毒する。

- (5) 競技関係者及び競技中の確認事項
- ・主審・線審等はマスクを着用する。(水分補給を促し、熱中症対策を講じる)
 - ・選手同士や審判員との握手は行わない。
 - ・トスはフィジカルディスタンスを確保して行う。
 - ・コールは必要最小限とすし、線審は指定の合図を行い、コールはしない。
 - ・シャトル交換は投げて渡す等、極力接触が起こらないように行う。
- (6) 観戦及び観客の管理
- ・原則観客の入場は禁止する。学校クラブ顧問の先生等で、選手以外が入場する場合もマスクの着用を義務付けたうえで、入館時に検温・健康状態確認チェックシートの提出をする。また、事前に分かる場合は運営役員に連絡を入れる。
 - ・応援は、声援を不可とし、指定した席で行う。会話をする場合はマスクの着用を励行する。
- (7) ゴミの処理
- 感染拡大防止の観点から各自持参した飲み物・弁当などは必ず持ち帰り自宅で処分する。ただし、運営上発生したゴミは、マスク・手袋を着用した上で回収し、廃棄する。作業後は、必ず手を洗い、手指を消毒する。
- (8) 緊急時の対応
- ・開催中にコロナウイルス感染者及び濃厚接触者が判明した場合には直ちに競技会を中止し、枚方市などの関係機関に報告する。
- 競技終了日より14日以内に感染が分かった場合は速やかに競技役員まで連絡を入れる
- (9) 個人情報の管理
- 競技関係者や参加者から感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意し、競技当日に提出された書面や申込書を1ヶ月間保管し、速やかに確認・提出可能な状態で保管する。競技会終了後、14日以内に競技会関係者及び参加者に感染者が出た場合、感染法に定められた通りに保健所や都道府県各機関と連絡を取り情報を提供します。しかし感染拡大防止以外の目的以外に使用することはありません。

※「大阪府コロナ追跡システム」への登録を促す

代表者会議説明用資料

1 競技参加者に関する留意事項

感染拡大防止による競技運営方法や会場の使用方法等を競技参加者に周知させる。

- (1) 受付時に、健康状態確認チェックシート（自宅で検温）を提出する
- (2) 棄権時は、会場に行かず、メール及び電話等で連絡する
- (3) 外履きは袋に入れて自分で管理し、下駄箱は使用しない
- (4) 試合以外では、マスクを着用する
- (5) 更衣室では、着替えのみとしシャワー・ロッカーは使用しない
- (6) 更衣室は密を避けるように各自が心がけて利用する
- (7) 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行う
- (8) 観戦中の応援は、声を出さずに拍手などで行う
- (9) ウォーミングアップは距離をあけて行う
- (10) コートサイドにはカゴは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは指定の場所に置き、ドリンク等も各自のバッグ等に収容する
こぼした時は、モップ等で拭きとる（自分のタオルを使用して拭かない）
- (11) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- (12) 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する
- (13) 汗をコート内やコートサイドに投げない
- (14) シューズの裏を手で拭かない
- (15) 意図的に試合中の声だしはしない
- (16) プレイヤー同士やチームメイトとハイタッチ等の接触を行わない
- (17) ゴミは全て持ち帰り自宅で処分する
- (18) 自身の試合・役割が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅する
- (19) 競技終了日より14日以内に感染が分かった場合は速やかに競技役員まで連絡を入れる

2 その他の留意事項

競技関係者や参加者から感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意し、競技当日に提出された書面や申込書を1ヶ月間保管し、速やかに確認・提出可能な状態で保管する。競技会終了後、14日以内に競技会関係者及び参加者に感染者が出た場合、感染症に定められた通りに保健所や都道府県各機関と連絡を取り情報を提供します。しかし感染拡大防止以外の目的以外に使用することはありません。

(参考資料)

- ・「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」
(公) 日本バドミントン協会
- ・「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(公) 日本スポーツ協会